

Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL: 03-6202-5270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2014年1月31日

2013年度第3四半期（10月～12月）のトピックスをご案内します。

1. 2013年9月中間期 決算概況について

当社は、2013年11月19日に平成25年9月中間期の決算発表を行いました。

正味収入保険料は前期比+836億円（増収率6.2%）の1兆4,241億円となり、大幅増収となりました。要因として、火災保険が住宅着工件数の伸びを確実に捉えて大きく増収したことや、自動車保険・自賠責保険の料率改定の効果が現れたことなどが挙げられます。また、国内損保事業の収支改善、国内生保事業・海外事業での計画値を上回る利益確保、さらには資産運用収支の大幅改善等により、中間純利益は過去最高の1,095億円（前期比+1,190億円）となりました。

（単位：億円）

	平成24年9月 中間期	平成25年9月 中間期	比較増減	増減率（%）
正味収入保険料	13,404	14,241	836	6.2
経常利益	66	1,630	1,564	—
中間純利益	▲94	1,095	1,190	—

2. 2013年10～12月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況（単純合算）

* 確報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第3四半期は、第2四半期に続いて全種目とも前年同期比で増収し、一般計3.9%の増収となりました。

（単位：百万円）

種目名	第3四半期（10～12月）		年度累計（4～12月）	
	収入保険料	増収率（%）	収入保険料	増収率（%）
自動車	307,511	1.5	940,293	1.9
自賠責	83,412	11.9	261,113	13.8
火災	118,358	2.7	347,126	6.7
傷害	55,382	4.2	167,475	1.8
新種	69,424	3.7	236,298	3.4
海上	26,758	15.1	85,973	9.0
一般計	660,842	3.9	2,038,277	4.6

3. 主なニュースリリース（2013年10月～12月） ※カッコ内はニュースリリースの日付

（1）MS&ADホールディングス

○山口県・島根県／岩手県・秋田県大雨災害への義援金について（10月4日）

当社は、山口県・島根県および岩手県・秋田県で発生した大雨により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、2つの災害合計で、延べ3,581名の社員から366万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額732万円を各県へ寄贈しました。

○ミャンマー南東部洪水災害に対する義援金について（１０月４日）

当社は、８月にミャンマー南東部およびタイ国境付近で発生した洪水により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、１，４９０名の社員から約１２４万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約２４９万円をミャンマー赤十字社等へ寄贈しました。

○～被災地復興支援～宮城県南三陸町で稲刈りボランティアを行いました（１０月８日）

当社は、１０月１２日・１３日の２日間にわたって、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町の水田で稲刈りボランティアを行いました。本活動は、水田の再生や、田植え・稲刈りに参加するとともに、収穫した米を購入し消費することで、復興支援に継続的かつ安定的に関わっていくことを目的としています。また、今年度から新たに地元の小学生を田植え・稲刈りに招き、一緒に作業を行っているほか、水田の生きもの調査も始めました。

○埼玉県竜巻災害への義援金について（１０月３０日）

当社は、埼玉県で発生した竜巻により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、１，９９６名の社員から１９４万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額３８８万円を埼玉県へ寄贈しました。

○チャリティーカードで東北の子どもたちを支援（１１月６日）

MS & AD インシュアランス グループ社員の社会貢献団体「MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ」と特定非営利活動法人「子供地球基金」は、子どもたちの絵でチャリティーカードを作成・販売し、その販売収益金で東北や世界各地の子どもたちを支援しています。今年度のカードの絵柄には、東北の子どもたち１２人がアートワークショップで描いた絵を使用しており、収益金は、東北の子どもたちを対象に今後も実施されるアートワークショップの運営や、これまで支援してきた旧ユーゴスラビア地域、シリア難民の子どもたちの支援に充てられます。

○台風１８号災害への義援金について（１１月２０日）

当社は、９月に発生した台風１８号により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、１，８６３名の社員から約１９１万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約３８２万円を京都府ならびに埼玉県熊谷市へ寄贈しました。

○台風２４号／台風２６号災害への義援金について（１２月２０日）

当社は、台風２４号および台風２６号により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、２つの災害合計で、延べ３，６４７名の社員から３１９万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額６３８万円を被災地自治体へ寄贈しました。

○フィリピン台風「ハイエン」の災害に対する義援金について（１２月２６日）

当社は、１１月にフィリピン中部に上陸した台風「ハイエン（３０号）」により、被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、３，９６２名の社員から約５００万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度による会社拠出分と合わせ、総額約１，０００万円を寄贈しました。さらに、アジア、欧州、米州等のグループ海外拠点でも独自に義援金を募り、マッチングギフト制度がある拠点についてはその分も含めて、総額約１，０００万円を各国の赤十字社等へ寄贈しました。これにより、グループ全体での義援金総額は、約２，０００万円となります。

（２）グループ各社

① 国内事業

○先進医療特約の保有契約が５０万件を突破！（１０月１５日）

三井住友海上あいおい生命は、２００６年１１月に発売した先進医療特約の保有契約件数が２０１３年９月末で５０万件を突破しました。発売当時業界初となる、先進医療にかかわる技術料や医療機関までの交通費を実費でお支払いする仕組みをもった本特約は、その後も、給付対象を先進医療にかかわる宿泊費にまで拡大するなど、よりお客さまのニーズにお応えできる商品として進化させてきました。このことが多くのお客さまに高く評価され、発売以来好調な販売実績となっています。

○「&LIFE 新医療保険A(エース)」

＜低・無解約返戻金選択型医療保険 無配当＞」発売（10月21日）

三井住友海上あいおい生命は、12月2日から、個人向け商品ブランド「&LIFE」シリーズにおける医療保険の新商品、「新医療保険A(エース)＜低・無解約返戻金選択型医療保険 無配当＞」を発売しました。本商品は、昨今の医療事情を踏まえ、短期の入院保障を手厚くしながら、治療が長期化、高額化する場合にも適切な保障が得られるよう、より合理的かつ充実した保障内容の提供を目的としています。主契約については、従来商品と同様の低解約返戻金型に加え、払込期間中無解約返戻金型を新たに用意し、より割安な保険料による保障を提供します。

○商品ブランド“TOUGH”をモチーフとしたオリジナルムービー完成（10月29日）

あいおいニッセイ同和損保は、商品ブランド“TOUGH(タフ)”をモチーフとしたオリジナルムービー（タフムービー）を作成しました。同社商品ブランド“TOUGH”の3つのコンセプト『迅速・頼れる・優しい』をイメージさせる5分弱の映像で、3つのコンセプトの中でもとりわけ、万が一のトラブル時の「迅速」対応を中心としたストーリー展開となっています。

○「製造業向けBCPキットくん」をリリース（10月31日）

あいおいニッセイ同和損保は、10月から、中小製造業向けのBCP（事業継続計画）作成キット「製造業向けBCPキットくん」をリリースしました。「製造業向けBCPキットくん」は、製造業者自身が自力で自社の地震対応BCPを作成するためのキットで、同社の代理店を通じて提供し、作成の助言も行います。

○「太平洋自然災害リスク保険パイロット・プログラム」への参画継続について（11月1日）

三井住友海上は、11月に契約更改された「太平洋自然災害リスク保険パイロット・プログラム」において、前契約に引き続き自然災害リスクの引受保険会社の1社に選定されました。本制度は、2013年1月に日本政府と世界銀行が協力して設立したもので、保険市場が十分に発達していない太平洋島嶼国で一定規模の自然災害が発生した場合に、被災した国・地域へ迅速に復興資金を提供することを目的としています。

○「HDI 問合せ窓口格付け調査結果」の2部門で最高評価『三つ星』を取得（11月15日）

あいおいニッセイ同和損保は、HDI-Japan（ヘルプデスク協会／運営会社：シンクサービス株式会社）が主催する2013年度「問合せ窓口格付け調査結果」の損保分野において、「問合せ窓口（カスタマーセンター）」と「サポートポータル（オフィシャルホームページ）」の2部門で最高評価である『三つ星』を取得しました。

○交通事故防止のための2つのアプリを開発（11月29日）

あいおいニッセイ同和損保は、交通事故防止に向けたタブレット端末用の2種類のアプリを開発しました。開発したのは「なるほどアドバイス」アプリと「ヒヤリハットアニメ」アプリの2種類で、お客さまが同社の代理店のタブレット端末を通じて、自動車事故の過失割合の考え方やヒヤリハット事例を学び、体験することができます。

○～「&LIFE 新医療保険A(エース)」が販売好調！～

販売開始時からの申込件数が9営業日で1万件を突破！（12月17日）

三井住友海上あいおい生命が2013年12月2日に販売を開始した「&LIFE」シリーズの「新医療保険A(エース)＜低・無解約返戻金選択型医療保険 無配当＞」のお申込件数が、12月12日までの9営業日で、1万件を突破しました。短期の入院から長期にわたる入院まで充実した保障をご準備いただける主契約に加え、さまざまな特約をご用意したことが高く評価され、今回のお申込み件数につながったものと考えています。

○日系損保初！豪州における保険会社の開業について（12月27日）

あいおいニッセイ同和損保は、2014年1月1日付けでオーストラリアに100%出資の保険子会社『Aioi Nissay Dowa Insurance Company Australia Pty Ltd』を開業しました。オーストラリアは、2012年に新車販売台数が過去最高の111万台を記録しており、同社の現地主力事業であるトヨタリテール事業も大きく拡大する見込みです。日系損保初となる保険現法の開業により、従来以上に地域に密着した体制での機動的な事業運営が可能となります。

② リスク関連事業

○国土交通省「運輸安全マネジメント制度」認定セミナーの実施機関に認定（１０月１日）

インターリスク総研は、９月２４日付けで「運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効なセミナー」の実施機関として国土交通省から認定を受けました。同社の実施するセミナーは、運輸安全マネジメントの「ガイドライン」（平成２２年版ガイドラインの１４項目）について、ガイドラインの解釈や取り組みのポイント、優良取り組み事例等についてわかりやすく解説するものです。

③ 環境・社会貢献活動・スポーツ

○三井住友海上文化財団 ２０１４年度「地域住民のためのコンサート」公募開始（１０月１１日）

三井住友海上文化財団は、２０１４年度「地域住民のためのコンサート」を共同主催する市町村の公募を開始しました。本コンサートは地域における文化振興を目的に、当財団が各地の公立文化ホールに国内の著名な演奏家や新進気鋭のアーティストを派遣し、自治体と共同主催で開催するクラシックコンサートです。２０１４年度は、全国３０カ所程度でコンサートを開催する予定です。

○「感謝の月」地域貢献活動を全国で実施（１０月２２日）

あいおいニッセイ同和損保は、地域社会への貢献活動「感謝の月（地域の皆さま おかげさまで!）」を全国で実施しています。今年度は、「交通事故低減」を損害保険会社の重要な使命との認識を新たにし、警察と連携して、オリジナルの黄旗やポケットティッシュ等を活用した交通安全啓発活動を展開しています。また、世界遺産の環境保全を目的とした清掃活動や、イベントのボランティア活動等も実施しています。

○三井住友海上福祉財団

２０１３年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団賞」を決定（１１月８日）

三井住友海上福祉財団は、２０１３年度の研究助成として応募総数１６６件のうち３４件を決定しました。また、優れた著作・論文に対し贈呈する「三井住友海上福祉財団賞」として著作１点および論文１点を表彰しました。

○三井住友海上駿河台ビル「屋上庭園」の一般開放を開始（１１月８日）

三井住友海上は、１０月２１日から、本店である三井住友海上駿河台ビルの屋上庭園の一般開放を開始しました。１９８４年竣工のビルは、「周辺環境との調和」を理念に建設され、屋上庭園をはじめとする緑豊かな空間を育んできました。１０月の本店移転と神田駿河台への本社機能の集約に合わせて、緑地の大規模リニューアルを行い、これまで以上に生物多様性に配慮した庭園へと生まれ変わりました。

○フェアトレード商品の販売会を実施

三井住友海上プライマリー生命は、１２月５日、発展途上国の貧困解消や経済的自立を目的として食品や民芸品の輸入販売を展開している「第３世界ショップ」と連携し、八重洲本社でフェアトレード商品の販売会を実施しました。同社だけでなくMS&ADグループ会社からも多くの社員が参加し、適正な価格での継続的な取引（フェアトレード）の意義について認識を深めました。

○三井住友海上ヨット部

・「全日本シーホース級ヨット選手権」（１０月１２日～１４日）

神奈川県・江の島沖で行われた「第５９回全日本シーホース級ヨット選手権大会」に三井住友海上のヨット部が出場し９連覇を達成しました。また、同時開催された「第５０回全日本シーホース級ヨット女子選手権大会」においても同社ヨット部が３連覇し、昨年に続いて一般の部と女子の部でダブル優勝を果たしました。

○三井住友海上女子柔道部

・「２０１３世界ジュニア柔道選手権大会」（１０月２３日～２７日）

スロベニア・リュブリャナで開催された「２０１３世界ジュニア柔道選手権大会」に３選手が日本代表として出場し、稲森奈見選手（７８kg超級）、吉村静織選手（７８kg級）が優勝、新井千鶴選手（７０kg級）が準優勝しました。また、２７日に開催された国別団体戦にも新井選手、稲森選手が出場し、日本代表女子チームの優勝に貢献しました。

- ・「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」（１１月９日～１０日）
千葉ポートアリーナで開催された「平成２５年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」に９名の選手が出場し、中村美里選手（５２kg級）が優勝、新井千鶴選手（７０kg級）が準優勝、山岸絵美選手（４８kg級）、吉村静織選手（７８kg級）が３位に入賞しました。
- ・「２０１３グランドスラム・東京」（１１月２９日～１２月１日）
東京体育館で開催された「２０１３グランドスラム・東京」に５名の選手が日本代表として出場し、阿部香菜選手（６３kg級）、新井千鶴選手（７０kg級）が優勝、山岸絵美選手（４８kg級）が３位に入賞しました。

④ その他

○代理店にスポットをあてた新テレビCM「安心を売る仕事」の放映開始

～絵本のような世界で堀北真希さんが大ピンチ！～（１０月１日）

三井住友海上は、１０月４日から、保険代理店にスポットをあてた新テレビCM「安心を売る仕事」を全国で放映しています。今回のCMでは、「三井住友海上の代理店」が持っている情熱や志、優しさを、スマートかつチャーミングに表現しました。

○新テレビCM「ゲッツ号が行く篇」オンエア開始！（１１月２２日）

三井住友海上あいおい生命は、１２月１日から、新テレビCM「ゲッツ号が行く篇」を全国で放映しています。今回のCMでは、新商品「&LIFE 新医療保険A（エース）」の特徴の１つである、ガン・心疾患・脳血管疾患の三大疾病にて入院された場合にお支払限度日数が無制限になることや、ニーズ別にラインアップする４つのソフトプラン等について訴求しています。

○「キャリア支援企業表彰２０１３」の厚生労働大臣表彰企業に選定（１１月２７日）

三井住友海上は、厚生労働省が主催する「キャリア支援企業表彰２０１３」において、保険業界として初めて、厚生労働大臣表彰企業の１社に選定されました。本表彰制度は、従業員のキャリア形成を積極的に支援している企業をたたえ、その取り組みを広く周知・普及させることを目的としており、２０１２年に厚生労働省によって創設されました。同社の受賞は、「社員一人ひとりの力量向上」と「社員が活躍する場としての組織力向上」に重点を置いた能力開発施策が高く評価されたものです。

以 上